

JAL は福岡空港で九州産鮮魚をテスト販売します

～客室乗務員が初めてプロデュースする鮮魚販売～

2021年4月1日

日本航空株式会社

JALは、「JALふるさとプロジェクト」(※)の一環として、福岡市長浜市場の近海鮮魚、および鹿児島県垂水市の養殖カンパチ「海の桜勘」、長崎県鷹島の養殖本マグロ(冷凍)などを、福岡空港の「BLUE SKY」(運営: (株)JALUX エアポート)にてテスト販売します。なお、お客さまの移動時間を考慮し、商品は真空パックし、保冷剤と保冷袋をお付けしてお渡しいたします。

この「お魚マルシェ」は、海外への九州産鮮魚の貨物輸送の繋がりに、国内においても地域一次産品の流通促進を図るお手伝いとして、JAL ふるさとアンバサダー(客室乗務員)が初めて企画しました。将来的な空港での定期販売の可能性を検討するため、この度テスト販売を実施します。

九州近海の鮮魚をいち早く福岡空港で販売することにより、航空機をご利用されるお客さまだけでなく、空港周辺の方々へお届けし、九州ブランドをアピールしながら流通の拡大に努め、地域活性化を目指してチャレンジしてまいります。

※「JAL ふるさとプロジェクト」URL: <https://japan.jal.co.jp/>

「お魚マルシェアワーズ」概要

- 販売期間 : 2021年4月2日(金) ~ 4月4日(日)
- 販売時間 : 朝 10 時 ~ 夕方 18 時まで
- 販売店舗 : 福岡空港国内線ターミナルビル 2 階
「BLUE SKY」国内線出発ロビー店
(南セキュリティゾーン横)



地域を元気に! 笑顔をつなぐ!
JALふるさとプロジェクト